

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっこりの里		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	15
○従業員評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アットホームな環境の中で、居場所となり心に余裕が生まれる。 ・お子さん、ご家族に寄り添った支援ができる。	・友達やスタッフなど、関わりの中で生まれる育み・学び・成長を大切にしている。 ・季節の変化、学校行事など年間の中での頑張りに目をむけ、その時の心の状態にあわせ、個室で休める環境も用意しています。 ・保護者様のお仕事や都合に合わせた早朝・延長の送迎を柔軟に対応し、負担を軽減する。 ・給食の提供も行い、栄養バランスのとれる食事の提供、保護者様の負担を軽減、お子さんの楽しみにもなっている。	・お子さんやご家族の心を励ますことができる言葉かけを行います。全スタッフが寄り添ったサービス提供を行えているのか、日々評価、改善に努めます。
2	・自己選択ができる機会を大切にして、自己決定を育む支援を行っている。	・絵カードを用いた、コミュニケーション手段を取り入れて、お子さんのその時の言葉や選択のひきだしを大切にしている。 ・おやつ、おもちゃの提供をスタッフが決めてしまうのではなく、絵カードなどで意思表示してもらっている。	・成長に合わせて変化するお子さんの思いを、どう引き出していくのか、チーム全体で考えます。日々、周りが決めてしまっていないか振り返りも行っています。
3	・活動プログラムが充実している。	・インストラクターによるヨガや、保育士によるリトミックといった活動を取り入れている。 ・本人支援の5領域に含まれる、運動をとりいれながら、リラックス効果や集団活動への参加ができる。	・自立訓練や個々に合わせた取り組みを記録し、次のステップに繋げられる様な取り組みを増やす。 ・参加児童が少ない場合、違う取り組みに変更する事があるが、できるだけ参加を促し、少人数でも実施し集団活動を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 支援終了後の打ち合わせ、支援の振り返り築いた点の共有ができていない。	・ 職員の出勤・退勤時間のずれが生じる。	・ 連絡ボードの活用性を強め、積極的な記入に努める。
2	・ 父母会の活動の支援、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援ができていない。	・ ほっこりフェスティバルが開催されているが、保護者、きょうだいの会話に繋げる対応ができていない。	・ snsやお知らせにて、きょうだいの参加率を上げ、関わる機会を増やしていく。
3	・ 事故防止マニュアル、緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染防止マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明できていない。	・ マニュアルを保護者に周知・説明する機会を設けていない。	・ 半年に1回、面談があるので、その際に説明し周知を行う。